

各位

上場会社名 株式会社 放電精密加工研究所
代表者 代表取締役社長 二村 勝彦
(コード番号 6469)
問合せ先責任者 取締役執行役員 管理部長 大村 亮
(TEL 046-250-3951)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年1月8日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、平成27年4月7日に公表いたしました業績予想について、下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,336	325	183	113	15.72
今回修正予想(B)	9,901	125	83	77	10.69
増減額(B-A)	△435	△199	△99	△36	
増減率(%)	△4.2	△61.3	△54.4	△32.0	
(ご参考)前期実績 (平成27年2月期)	10,024	577	633	451	62.50

平成28年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,634	230	189	155	21.46
今回修正予想(B)	9,322	31	25	57	7.87
増減額(B-A)	△312	△199	△164	△98	
増減率(%)	△3.2	△86.5	△86.6	△63.3	
(ご参考)前期実績 (平成27年2月期)	9,490	493	489	338	46.91

修正の理由

(1) 連結業績について

売上高につきましては、予想に対して435百万円の減収の見通しで、その内訳は放電加工・表面処理事業△231百万円、金型事業△99百万円、機械装置等事業△104百万円で全事業セグメントにおいて未達となる見込みです。

営業利益につきましては、各事業セグメントの売上高減少による影響の他に、主に金型事業の製品ミックスによる原価率上昇により減益となりましたが、機械装置等事業では減収に対して生産の効率化等を図ったことにより増益となり、営業利益全体では199百万円の減益となる見込みです。

経常利益につきましては、タイ国の持分法適用会社の投資損失が業績改善により予想よりも少額となったため、損失幅が減少となる見込みです。

当期純利益につきましては、営業利益及び経常利益の減益の影響により36百万円の減益となる見込みです。

(2) 個別業績について

売上高につきましては、予想に対して312百万円の減収の見通しで、その内訳は放電加工・表面処理事業△231百万円、金型事業△99百万円、機械装置等事業18百万円となる見込みです。

営業利益につきましては、売上高減少による影響の他に、主に金型事業の製品ミックスによる原価率上昇により、199百万円の減益となる見込みです。

経常利益につきましては、計画外で関連会社からの配当金があったことから損失幅が縮小して164百万円の減益となる見込みです。

(注)この資料に記載されております業績の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。